

左耳のシビレに関する考察

東洋鍼灸院 田中俊男

主 訴 : 紹介された患者が左耳のシビレできた。
1年ほど前から時々しびれていて取れないという。
耳鼻科領域は問題が無く、治療がないという。
眩暈も耳鳴りもないという。
既往歴は子宮内膜症と手術するほどでもない胃のポリープである。
不妊治療もして、当帰芍薬散を飲んでいる。
最近体重が増えているという。

検査指標 : 1. 患部のウィルス感染
CMV,HSV,EBその他
クラミジア・ニューモニアその他
ポレリアの感染

2. 患部のマイナス
box lightで反応せず
金属棒でのみ反応

3. TXB2の反応
反応なし

4. 患部特定
肺・心臓・胃・食道の位置

5. 当帰芍薬散で胃を壊す
内膜症にも反応せず
太り始めた

6. 臓器代表領域としての考え方
詳細に調べ胃か食道と判明
胃(-6)
噴門部(-6)
パリエットが適合
逆流性食道炎から来る臓器代表領域の反応？

	前	ツムラ23	ツムラ24
胸腺	0	6	-2
テロメア	120ng	10ng ↓	200ng ↑
胃・食道	-6	-6	-3
大腸	0	-6	1
子宮	-6	-6	6

実 技 : ネットワークと臓器の共鳴反応

